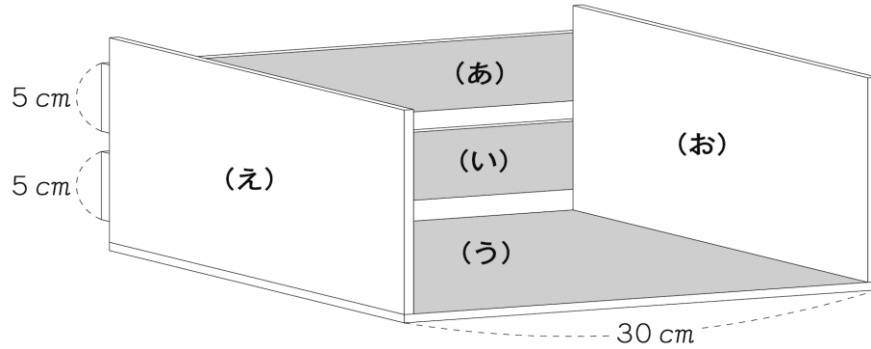




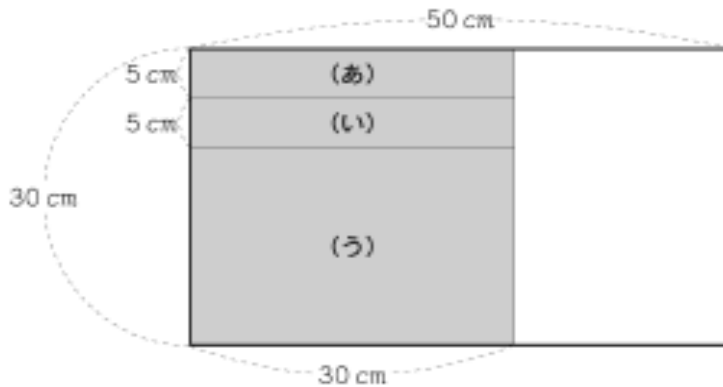
【図形（ずけい）】問題文（もんだいぶん）

よしおさんは、次（つぎ）のような本立（ほんた）てを作（つく）ろうと考（かんが）えています。

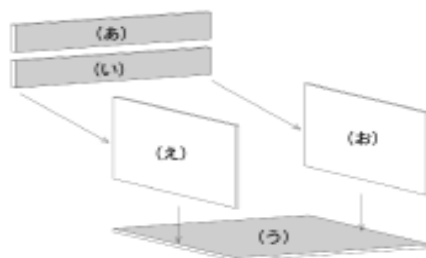


本立（ほんた）てを作（つく）るのに使（つか）うのは、下（した）のような板（いた）です。この板（いた）は、たてが30cm、横（よこ）が50cmの長方形（ちょうほうけい）です。

長方形（ちょうほうけい）（あ）、（い）、（う）は  の部分（ぶぶん）を、左（ひだり）の図（ず）の線（せん）のように切（き）って作（つく）ります。板（いた）の残（のこ）りの  の部分（ぶぶん）はあまり出（で）ないように切（き）って、合同（ごうどう）な2つの長方形（ちょうほうけい）（え）、（お）を作（つく）ります。



切（き）り分（わ）けた5枚（まい）長方形（ちょうほうけい）の板（いた）は、下（した）のように組（く）み立（た）てます。



(え) はどのような長方形 (ちょうほうけい) ですか。辺 (へん) の長 (なが) さと言葉 (ことば) を使 (つか) って書 (か) きましょう。

こたえ